

グレビーシマウマ「カエデ」の死亡について

千葉市動物公園では、平成16年10月以来、皆さまに親しまれてきた、グレビーシマウマの「カエデ」（メス）が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡した動物について

(1) 動物種

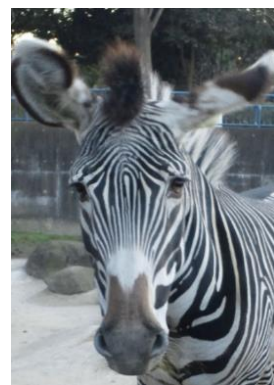
グレビーシマウマ メス

(2) 生年月日

平成16（2004）年10月3日（年齢20歳）

(3) 出生地

千葉市動物公園



グレビーシマウマ「カエデ」

2 死亡日時

令和7年7月18日（金）未明

3 死因および経緯

(1) 死因

起立不能による循環不全

(2) 経緯

7月15日の朝、後肢の負傷が原因と考えられる起立困難な状態となったため、起立の介助を行いました。起立させるには至りませんでした。横臥による内臓への負荷軽減のため、体勢の反転、必要な薬剤の点滴、血液検査等を実施しました。

翌日16日以降は体の反転とともに苦痛の軽減に努めましたが、18日未明に死亡しました。解剖後、「左後肢大腿骨」の骨折が判明しました。

4 当園でのグレビーシマウマの飼育状況

昭和63（1988）年4月の2次開園より展示を開始

（現在オス1頭、メス1頭）

5 国内飼育頭数

8園館 オス11頭、メス4頭、計15頭

（公益社団法人日本動物園水族館協会 飼育動物報告 令和7年7月18日現在）

<参考> グレビーシマウマについて

英名	Grevy's Zebra
学名	<i>Equus grevyi</i>
分類	奇蹄目（ウマ目） ウマ科
生息地	アフリカのスーダン南部、エチオピア、ケニア北部、ソマリア
体重	350～450 kg
体長	2.5～3.0 m
食べ物	草や木の葉
保護状況	IUCNレッドリスト絶滅危惧種EN ワシントン条約附属書I表
特徴	オス1頭と複数頭のメスの群れで暮らします。オスは群れを守るため、群れに近づく他のオスに対して攻撃します。シマウマの中では最も大きく、しまは幅が狭く数が多く、しまの模様は1頭ずつ違うとされています。